

2026年度 3年次編入学選抜 「専門試験」出題の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験（芸術学科は小論文）	面接	
	狙い・意図	狙い・意図	専門試験作品利用
日本画			
油画		提出した作品が該当学年に相当する技術力、表現力を持ち得ているか、大学編入後のヴィジョンはあるか、普段どのような意図で制作しているのか、本学油画専攻を選んだ理由が明確かどうかなど、総合的に判断して採点を行った。	－
版画		3年次編入面接試験では、現在までの制作研究内容を含む提出作品やポートフォリオを前に、専任教員との質疑応答の中で以下の点をポイントとし評価しています。 ・日本語能力＝質問を十分に理解し、的確に返答できるか（外国人の受験生） ・完成度＝作品とともにポートフォリオ自体に完成度があるか ・意欲・積極性＝志望動機は明確であるか、学業や制作に意欲があるか ・プレゼンカ＝持参した作品を基に自身の考えを明確に述べられるか、説得力をもって いるか ・計画力＝入学後の研究に展望をもち、その実現に何が必要であるか把握しているか	－
彫刻		・実技試験作品コンセプトの聞き取り ・基本的な言語/コミュニケーション能力 ・美術以外に関心のあること ・ポートフォリオの内容について個別質問	－
工芸		・学科の特色への理解 ・志望動機が明確であるか ・自分の考えで語れるか ・学業への熱意 ・質問についての理解と、返答の的確さ	－
グラフィックデザイン	・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の意図や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか ・3年次に相当する能力を有するか	・日本語で日常会話が行えるか ・専門分野の用語が理解できるか ・入学志望理由が明確であるか ・自分の意見が述べられるか	×
プロダクトデザイン	・理解力＝問題の把握、理解が適切か ・発想力＝アイデアが優れているか ・独創性＝他にないアイデアか ・実現力＝アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力＝アイデアが伝わる表現か ・3年次に相当する能力を有するか	・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか	×
テキスタイルデザイン	受験生がこれまでに学び、培ってきたテキスタイルデザインの基礎的能力を発揮して解答できることをねらいとした。そのために、縞模様をベースに計画的な配色による解答が出てくることを意図して出題した。また、受験生が自分の構想を具体的に示せるように解答（作品）のタイトルを別紙に記してもらった。さらに、色彩計画が具体的に伝わるように、解答の中で選んだ色それぞれがどのような役割を演じているかも別紙に言葉で記入してもらった。	面接試験では、持参作品説明のあと、「好きなデザイナーやアーティストを教えてください」、「この1年間で困難だと思ったことは、どのようなことですか?」、「それをどのように乗り越えましたか?」といった質問に加えて「自己アピール」などを問いかけた。自己表現力、持参作品が本専攻2年生と同等な内容であるか、外国人の場合は日本語でのコミュニケーション能力を面接のポイントとした。	●
建築・環境デザイン	建築・環境デザイン学科が対象とする領域は、身の周りの小さなスケールから、都市のような大きなスケールまで様々です。あるモノ単体だけではなく、複数の関係を空間的に思考することが重要で、それを伝えるためにスケッチや図面といった「想定表現」が必要になります。その基本的な思考力・表現力を判断するために、実物のモチーフを「想定で立体構成」してデッサンする、という出題でした。「机や背景は描かないこと」としているのは、空間の奥行や広がりを伝えやすい背景に頼らずに、作者の純粋な立体構能力（空間表現力）を評価出来るからです。	・志望理由が明確であるか ・本学科の教育内容を理解しているか ・授業に必要な対話力はあるか ・授業への取り組みの意欲があるか ・海外での経験をどのように活かそうとしているか	●
情報デザイン メディア芸術コース			
情報デザイン 情報デザインコース			－
芸術	論述の着眼点が出題内容に対して適切であるか、論旨は明確で説得力があるか、卒業論文を書き上げるのにふさわしい能力があるかという点が判断基準になります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科の特性に対する理解度、受験生の知的好奇心や学業および芸術への熱意などを考慮しながら質問を行い、判定します。	×
統合デザイン		・編入学志望理由が明確かつ適切か ・本学科の内容を理解しているか ・自分の意志・考えを持ち、明確に述べられるか ・授業に必要な対話力・語学力・思考力はあるか ・授業に必要な確かな観察力と制作技術はあるか ・提出作品の内容に対する評価	×
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース			
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザインコース			